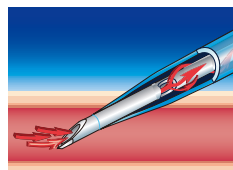


針刺し防止機構付き留置針
Supercath® 7

細血管に対応した側孔付き内針



血管確保をカテーテル上で
すばやく確認できます。

V字形状（バックカット）の針先

穿刺抵抗が低く、
穿刺痛の低減が期待できます。

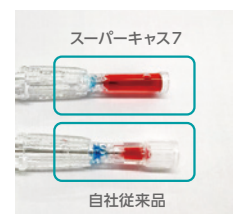
プッシュタブ

カテーテルハブのライン接続部に直接触れ
ることなくカテーテルを血管内に送り込む
ことができます。

滑り防止リブ付きグリップ

手技中に保持しやすい加工が
側面に施されています。

フラッシュバックポイント

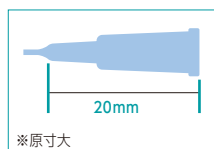


大きなフラッシュバッ
クポイントで逆血の確
認をやすくします。

フルカバースリーブ

内針に付着した血液
の曝露を予防します。

コンパクトなカテーテルハブ



ポリウレタン製
カテーテル

X線不透過性の素材が含まれて
います。留置後は体温に反応し
て柔らかくなります。

止血弁

カテーテルハブに止血弁を内蔵して
おり、圧迫止血が不要です。ライン
接続時に止血弁が開放されます。
(止血弁機能は一回限り有効)

針先保護キャップ

内針抜去と同時に
針先をカバーします。

カテーテルゲージ	18G	20G	22G	24G
カラーコード	グリーン	ピンク	ブルー	イエロー
外径 mm	1.3	1.1	0.9	0.7
内径 mm	0.9	0.7	0.6	0.4
有効長" (mm)	1・1/4" (31)	1・1/4" (31)	1・1/4" (31)	3/4" (19)
製品コード	HP2702	HP2703	HP2704	HP2700
品番	18G S7×1・1/4"V(F)	20G S7×1・1/4"V(F)	22G S7×1・1/4"V(F)	22G S7×1"V(F)
JANコード	4543527245760	4543527245777	4543527245784	4543527245753

製品はすべてEOG滅菌済み (1本包装 / 1箱50本入り)

販売名: スーパーキャス
一般的名称: プラスチックカニューレ型滅菌済み穿刺針
クラス分類: II
医療機器認証番号: 15600BZZ00792000
保険医療材料請求区分: なし

ご使用前に製品の電子添文を確認の上、記載されている説明に従って正しくご使用ください。



メディキット株式会社

販 売 元: メディキット株式会社
製造販売元: 東郷メディキット株式会社
営 業 所: 東京・札幌・仙台・埼玉・千葉・八王子・横浜・金沢・名古屋・京都・関西・神戸・広島・松山・福岡・宮崎
流通倉庫: 宮崎県日向市・千葉県佐倉市
<https://www.medikit.co.jp/>
<https://www.togomedikit.co.jp/>

〒113-0034 東京都文京区湯島1-13-2 TEL.03-3839-0201

〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川17148-6 TEL.0982-53-8000

針刺し防止機構付き留置針
Supercath® 7



Clean
& Safe



メディキット株式会社

針刺し防止機構付き留置針 Supercath® 7

パッシブタイプの針刺し防止機構付き留置針

医療従事者も患者さんも、穿刺に関わるあらゆる感染リスクから守るために。

従来の止血弁や安全機構に加えて、カテーテル関連血流感染（Catheter-related blood stream infection：CRBSI）を防ぐための独立したプッシュタブと、血液に触れた内針をフルカバーする針刺し防止機構を開発しました。

スーパーキャス7は、針刺し防止による“Safe”だけでなく、血液曝露を予防する“Clean”を医療現場の全ての皆様に提供する、“Clean & Safe”を新たなコンセプトにつくられました。



止血弁※による圧迫止血作業の軽減

止血弁をカテーテルハブに内蔵しており、圧迫止血が不要です。穿刺手技中の血液との接触を防ぎ、感染対策に有効です。ライン接続時に止血弁が開放されるため輸液・輸血をスムーズに行えます。



カテーテルハブに直接触れないプッシュタブ

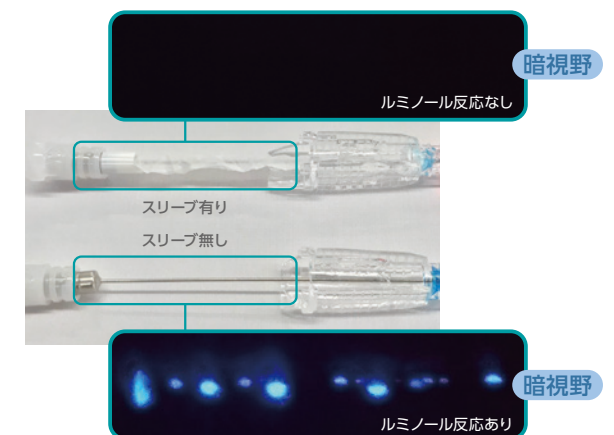
大きなプッシュタブがついており、カテーテルハブに直接触れずにカテーテルを血管内に送り込むことができます。血液が触れるカテーテルハブを清潔に保ち、CRBSI対策の効果が期待できます。

注：カテーテルを送り込む際は、必ずプッシュタブ部分を押ししてください。



パッシブタイプの針刺し防止機構

内針を抜去する際に自動的に針先をカバーします。複雑な操作は一切不要で使用できるため、手技の標準化やスタッフ教育が容易です。



フルカバースリーブによる血液曝露の防止

穿刺後の内針には、針先だけでなく表面にも血液が付着しています*。針刺し防止機構と同時にフルカバースリーブが針全体を包み込むことで、血液汚染を最小限で廃棄可能です。

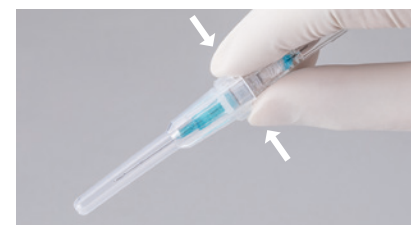
*ヒト血液を充填し50mmHgに設定した穿刺シミュレーターへ製品を穿刺、逆血確認後に抜去した内針全体へルミノール試薬を噴霧し、明視野/暗視野にて撮影。内針に残存する血液成分に試薬が反応して発光。

ご使用方法 ▶

ご使用前に製品の電子添文をご確認ください。



1 包装は1本ずつ大きく開封します。
(開封が十分でないとプロテクターが外れて針が露出する可能性があります。)



2 プロテクターは2本の指ではさむようにすることで片手で外すことも可能です。 **SMOOTH TOUCH®**



3 内針の刃面の向きを確認します。



4 逆流が確認できる深さまで穿刺します。



5 プッシュタブを押しカテーテルを送り込みます。



6 内針を抜去します。



7 内針抜去時にはカテーテルハブを保持してください。



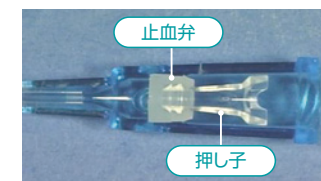
8 カテーテルハブに止血弁が内蔵されているため圧迫止血が不要です。



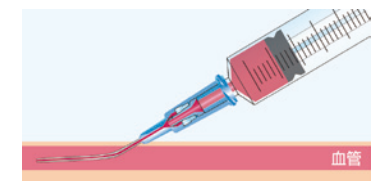
9 輸液セットを押し込み止血弁を開放し接続してください。通常通りの手技で接続できます。



止血弁について



押し子が押され止血弁が解放されます。



シリンジを接続して採血することも可能です。

止血弁の機能は一回限り有効です。

シリンジや回路を一度接続した後に取り外し、再接続する際には圧迫止血が必要です。

※本カタログ内における語句「止血弁」は「圧迫止血補助弁」を指します。止血効果は血圧20mmHgで10秒程度を目安としております。